

平成26年5月7日  
株式会社 愛知銀行

## 「電子記帳台」の導入について

愛知銀行（頭取 幅 健三）は、平成26年5月12日（月）に移転する名古屋駅前支店の新店舗にて、お客さまの利便性向上を図るため、「電子記帳台」を試行導入いたしますのでお知らせします。

「電子記帳台」とは、「伝票作成システム」のことです。お客さまが、タッチパネルの操作ガイダンスに従い、タッチペンを使用して必要事項の入力を行い、お客さまのご署名についてもタッチペンにて直接タッチパネルへご記入いただくことで、必要事項および筆跡が伝票に印刷されます。

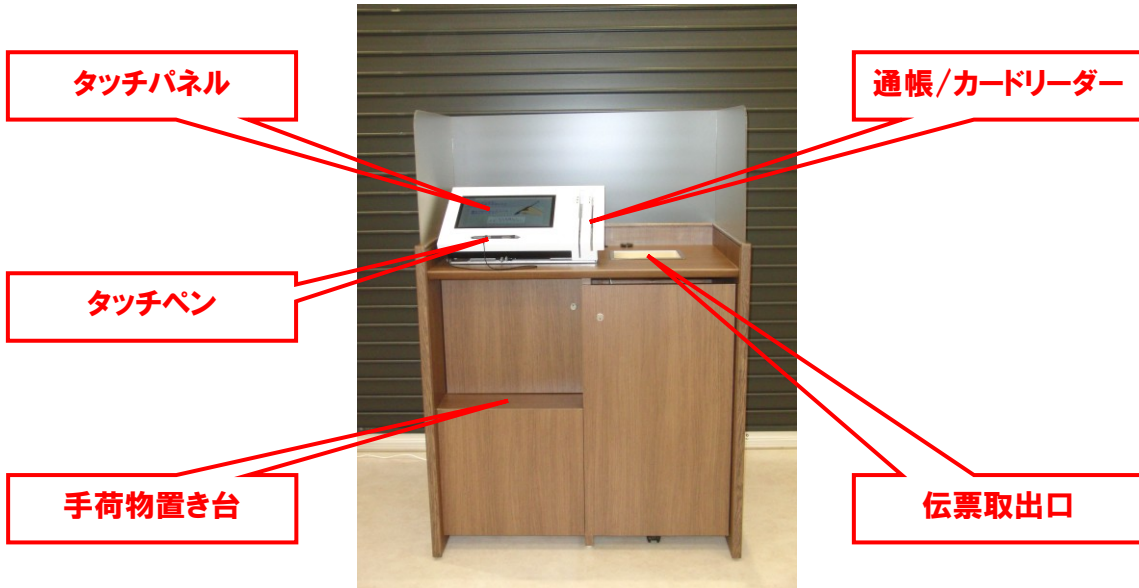
当行では、「電子記帳台」をロビーに1台設置するだけでなく、ローカウンターにも2台（うち1台はタブレット端末）を設置します。これにより、ご高齢のお客さまは着席してご利用いただくことができます。

当行は、今後もお客さまにご満足いただけるサービスの提供に努めてまいります。

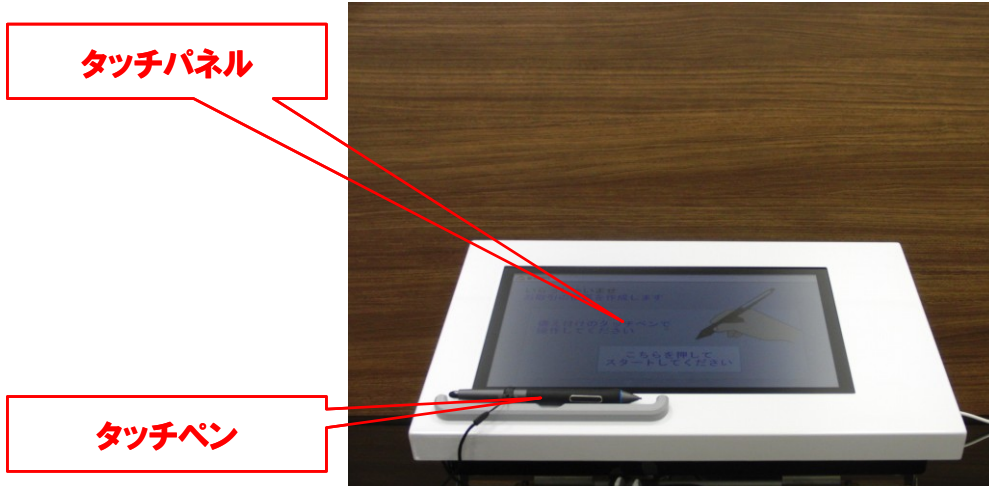
### 【今回導入する電子記帳台の特長】

1. 画面上の操作ガイダンスに従い入力していただくことで、お客さまの記入負担を軽減し、記入もれのない、正確な伝票が自動作成されます。
2. ロビーに設置した「電子記帳台」は、キャッシュカードや通帳を読み取り口に通すだけで店番、口座番号を自動読み取りする機能を装備しており、お客さまの利便性を更に向上させています。
3. 手になじみやすいタッチペンを採用し、また、ご高齢のお客さまでもタッチしやすいよう画面のボタンを大きく配置し、見やすい配色として操作性を高めています。
4. 自動作成された伝票は、端末機による伝票読取率向上につながり、お客さまの待ち時間を短縮することができます。
5. 対象となる伝票は「入金票」、「預金払戻請求書」、「両替依頼書」の3種類ですが、今後、「振込依頼書」、「税金・公共料金等払込書」などの伝票や伝票以外の各種サービスの申込書などについても、随時追加を検討してまいります。

【電子記帳台（ロビー設置）】



【電子記帳台（ローカウンター設置）】



【タブレット端末（ローカウンター設置）】

